

平成 26 年度「高度人材養成のための社会人学び直し大学院プログラム」委託事業
成果報告書

『経営基盤強化を担うイノベーション人材が育つ
「MBA エssenシャルズ」プログラム』

総括

本学が文部科学省より「高度人材養成のための社会人学び直しプログラム」として委託を受けた事業は「経営基盤強化を担うイノベーション人材が育つ『MBA エssenシャルズ』プログラム』である。文部科学省との委託契約締結後、平成 26 年 10 月 7 日から開始した本事業の成果について総括する。

まず、平成 26 年度に本事業において開講した講義科目ならびに講座は、MBA エssenシャルズ・単科科目を名古屋・東京・大阪の 3 キャンパスにおいて 23 科目、社会人のためのビジネス資格対策講座として 4 講座である。受講生はのべ 450 人。開講した MBA エssenシャルズ・単科科目ならびにビジネス資格対策講座の一覧と受講生の内訳は、別添資料 1 (P. 3) のとおりである。当初事業計画では外部からの受講生(社会人)の見込みを 171 人としていたが、結果として 146 人となった。また、本事業では、我が国の成長戦略の一つともなっている「女性の活躍」「女性の社会進出」の推進に寄与すべく女性のキャリアアップや学び直しに繋がる講義科目やビジネス資格対策講座を開講し、受講生募集活動においても特に女性をターゲットとした広告を積極的に実施した。平成 26 年度の女性の受講生の割合は 17.8%であり、別添資料 1-3、1-4 (P. 4) のとおりである。

本事業実施においては、産業界との組織的・実質的な連携の確保が求められており、本事業実施にあたり、「次世代産業人キャリア・ディベロップメント協議会(略称:CD 協議会)ならびに「プログラム開発委員会」を設置している。CD 協議会、プログラム開発委員会とも、構成員に企業に委員の委嘱を行って産業界との協働体制により、本事業の自己点検・評価、カリキュラム開発等を行った。平成 26 年度に実施した産業界との「協議の場」や学び直し学修ニーズに関する聴取や意見交換、平成 27 年度の本事業計画に向けてのカリキュラムに関する検討会などは、別添資料 3 (P. 7) のとおりである。

また、本事業における自己点検として、単位修得率、成績評価結果(GPA)、受講生による授業の満足度調査結果をもとに分析を行っているが、本事業で開講された MBA エssenシャルズとビジネス資格対策講座の実績資料は別添資料 4 (P. 10) のとおりである。

本事業の普及活動としては、本学の HP 上からの本事業に関する情報公開、受講生募集、媒体を使ったプログラム紹介・受講生募集、ならびに山梨大学が主導している高度人材養成のための社会人学び直し大学院プログラムポータルサイト(<http://www.s-manabinaoshi.jp/>)への情報提供などを実施した。また平成 27 年度からスタートの「履修証明プログラム」の受講生募集・審査を実施し、平成 27 年度 4 月には「履修証明プログラム」受講生として 22 名が科目等履修生として入学した。審査方法や審査結果は別添資料 5 (P. 12) のとおりである。

平成 26 年度に本事業を実施し、受講生数の見込みに対して実受講者として 85%の達成であり、女性の受講生数の割合はまだ低く、今後一層の受講生のダイバーシティの拡充にむけた普及活動をしていく必要がある。プログラムの内容に関しては、協議会での意見や受講生アンケートの結果においても満足度が高く一定の評価を得ることができた。今後も、社会人学び直し大学院プログラムとして産業界が求める人材育成に寄与できるカリキュラム編成や開講講座の見直しなど継続的に改善を企業と協働して行う。

1. MBA エssenシャルズ開講科目

| No. | キャンパス | 科目 | 教員 | 開講日程 | |
|-----|-------|-----------------------------|---------------------|------|-------------------------|
| 1 | 名古屋 | M&A 基礎 | 田中 誠和 | 土日 | 10/18, 19 |
| 2 | 名古屋 | マーケティング基礎 | 松尾 洋治 | 火 | 11/11, 18, 12/2, 9, 16 |
| 3 | 名古屋 | Basic Business Negotiations | Gerland, Sabrina | 木 | 11/20, 27, 12/4, 11, 18 |
| 4 | 名古屋 | ファイナンス基礎 | 小林 武 | 金 | 11/14, 21, 12/5, 12, 19 |
| 5 | 名古屋 | 証券投資基礎 | 山分 俊幸 | 土日 | 11/29, 30 |
| 6 | 名古屋 | クリエイティブ・シンキング基礎 | 北原 康富 | 土日 | 12/6, 7 |
| 7 | 大阪 | マネジメント基礎 | 川村 稲造 | 土日 | 10/11, 12 |
| 8 | 大阪 | 経営戦略基礎 | 三宅 光頼 | 土日 | 11/8, 9 |
| 9 | 大阪 | B2B マーケティング基礎 | 村上 功 | 土日 | 11/15, 16 |
| 10 | 大阪 | アカウンティング基礎 | 関口 了祐 | 土日 | 11/29, 30 |
| 11 | 大阪 | ファイナンス基礎 | 小林 武 | 土日 | 12/6, 7 |
| 12 | 大阪 | クリティカル・シンキング基礎 | 長沢 雄次 | 土日 | 1/24, 25 |
| 13 | 大阪 | グローバル・マネジメント基礎 | 三輪 祥宏 | 土日 | 1/31, 2/1 |
| 14 | 大阪 | ベンチャー・ビジネス基礎 | 土屋 継 | 土日 | 2/7, 8 |
| 15 | 大阪 | マーケティング基礎 | 山岡 隆志 | 土日 | 2/21, 22 |
| 16 | 東京 | 経営戦略基礎 | 植田 統 | 水 | 10/8, 15, 22, 29, 11/5 |
| 17 | 東京 | 金融マーケット戦略基礎 | 山田 隆 | 火 | 11/11, 18, 12/2, 9, 16 |
| 18 | 東京 | デザイン・シンキング基礎 | 井坂 智博 | 水 | 11/12, 19, 12/3, 10, 17 |
| 19 | 東京 | Basic Business Negotiations | Denscombe, Nigel K. | 金 | 11/14, 21, 28, 12/5, 19 |
| 20 | 東京 | 相続税法基礎 | 野坂 和夫 | 金 | 11/13, 20, 12/4, 11, 18 |
| 21 | 東京 | アントレプレナー基礎 | 長沢 雄次 | 土日 | 1/31, 2/1 |
| 22 | 東京 | ビジネス・イノベーション基礎 | 渡辺 悟 | 土日 | 2/14, 15 |
| 23 | 東京 | 企業再生基礎 | 植田 統 | 土日 | 2/28, 3/1 |

2. ビジネス資格対策講座

| No. | キャンパス | 講座名 | 講師 | 開講日程 | |
|-----|-------|------------------|-------|------|----------------------|
| 1 | 名古屋 | メンタルヘルス・マネジメントⅡ種 | 飛鷹 正範 | 土日 | 12/13, 20, 1/17, 31 |
| 2 | 名古屋 | ビジネス会計検定 2 級 | 金岡 勝一 | 土日 | 12/13, 1/17, 24, 2/7 |
| 3 | 名古屋 | ビジネス実務法務検定 2 級 | 座間 裕史 | 土日 | 2/14, 15, 28, 3/1 |
| 4 | 名古屋 | エコ検定 | 金岡 勝一 | 土日 | 2/14, 15, 28, 3/1 |

3. MBA エssenシャルズ受講生数（期間：平成 26 年 10 月 7 日～平成 27 年 3 月 31 日）

| | 延べ人数 | 実人数 |
|------|------|-----|
| 受講者数 | 425 | 226 |

受講者数のうち外部受講生（社会人）は 121 名

外部受講生（社会人）の内訳

| | 延べ人数 | 実人数 |
|--------|------------|------------|
| 外部受講者数 | 121 | 77 |
| うち社会人 | 121 (100%) | 77 (100%) |
| うち女性 | 20 (16.6%) | 13 (16.8%) |
| うち企業派遣 | 24 (19.9%) | 19 (24.7%) |

4. ビジネス資格対策講座（期間：2014 年 10 月 7 日～2015 年 3 月 31 日）

| | 延べ人数 | 実人数 |
|------|------|-----|
| 受講者数 | 25 | 25 |

受講者のうち外部受講生（社会人）は 18 名

外部受講生（社会人）の内訳

| | 延べ人数 | 実人数 |
|--------|-----------|-----------|
| 外部受講者数 | 18 | 18 |
| うち社会人 | 18 (100%) | 18 (100%) |
| うち女性 | 6 (33.3%) | 6 (33.3%) |
| うち企業派遣 | 1 (5.6%) | 1 (5.6%) |

※MBA エssenシャルズとビジネス資格対策講座を包括したときの女性受講生割合は 17.8%となる。

広報活動並びに普及活動に関する報告

1. MBA エssenシャルズプログラム説明会

社会人学び直しプログラムや MBA に興味・関心を持っている外部生を対象に本プログラムの概要、受講方法、受講生募集要項等について説明、質疑応答、個別相談等の内容にて説明会を開催した。

①説明会の内容

- ・ プログラム説明
- ・ 委託事業開始前に、本学の MBA 単科受講生の体験談
- ・ 模擬講義
- ・ 講義見学
- ・ 質疑応答

②開催回数・参加人数

委託事業開始後、計 48 回の説明会を開催した。

各キャンパスにおける開催数と参加人数は以下のとおりである。

| | 東京キャンパス | 名古屋キャンパス | 大阪キャンパス |
|--------|---------|----------|---------|
| 開催回数 | 16 回 | 18 回 | 14 回 |
| のべ参加人数 | 226 名 | 285 名 | 118 名 |

2. 個別相談

社会人学び直しプログラム、MBA 基礎科目の単科受講、履修証明プログラムに興味・関心を持っている社会人に対して随時個別相談を行ってプログラムの説明、受講方法、履修証明プログラム受講申込方法、等々について説明と質疑応答を行った。

個別相談件数は、20 件。

3. 媒体を使った広報・普及

インターネット系メディア、雑誌、新聞広告、フリーペーパー等を活用し、プログラムの周知活動ならびに受講生募集活動を行った。

①ウェブ広告

- ・ ポータルサイトへのバナー／プログラム紹介掲載（リクルート大学&大学院 net）
- ・ Google Adwards 広告

② 媒体広告

- ・ 新聞折込広告（中日新聞折込広告）
- ・ 地域情報紙への広告掲載（女性向け地域情報紙シティリビング）

4. その他の広報活動

- ・ ホームページ作成
- ・ DM 発送（本大学院の修了生の所属する企業の人事宛に 720 件）
- ・ リーフレット/パンフレット発送
- ・ プログラム案内のメール送付

【1】次世代産業人キャリア・ディベロップメント協議会ならびにプログラム開発委員会開催

次世代産業人キャリア・ディベロップメント協議会とプログラム開発委員会は同日に行っており、平成26年10月7日～平成27年3月31日において2回開催した。

1. 実施目的

①次世代産業人キャリア・ディベロップメント協議会は、産業界からの次世代人材へのニーズや高等教育機関への要望の聴取を目的として行った。

重点項目

- ・ 女性の活躍のための条件整備：マネジメントの基本リテラシーの学び直し
- ・ グローバル人材の需要：New Asiaでのリーダーシップの発揮
- ・ ビジネスと組織にイノベーションを起こす力：発散型創造型思考力

②プログラム開発委員会は、CD協議会の検討依頼事項の具体化に向けたカリキュラム開発を目的として行った。

重点項目

- ・ 次年度の本事業への反映のための具体的な内容の議論と具体化
- ・ 受講者への事後アンケート（大学側および企業側）の分析、課題発見、開発テーマ
- ・ 事業実践にもとづく価値ある知見やノウハウを、いかに広く社会産業界に還元するかを検討

2. 構成員

| 所属 | 名前 |
|----------------------------|--------|
| 株式会社アルペン 教育研修部長 | 大澤 恒雄 |
| 株式会社アルペン 教育研修部 e-ラーニンググループ | 吉田 裕三 |
| 名古屋発條工業株式会社 代表取締役 | 三輪 佳史 |
| 瀬戸信用金庫 人事部副部長 | 石塚 大祐 |
| 瀬戸信用金庫 人事部研修担当グループ長 | 堀田 克弘 |
| テンプスタッフラーニング 営業部長 | 小室 銘子 |
| 名古屋商科大学大学院 研究科長 | 川村 稲造 |
| 名古屋商科大学大学院 教授 | 石井 竜馬 |
| 名古屋商科大学大学院 教授 | 北原 康富 |
| 名古屋商科大学大学院 事務局長 | 早川 京子 |
| 名古屋商科大学大学院 企業研修担当 | 加藤 恵子 |
| 名古屋商科大学大学院 企業研修担当 | 上田 麻由子 |

3. 第1回次世代産業人キャリア・ディベロップメント協議会ならびにプログラム開発委員会報告

【日 時】平成26年11月4日（火） 15:00～17:00

【場 所】名古屋商科大学大学院 名古屋キャンパス伏見ビル

【協議内容】

- ①「MBA エssenシャルズ」プログラム設置の目的と高等教育の現状の意識共有
- ②「MBA エssenシャルズ」カリキュラムの策定の目的とテーマ趣旨説明
- ③「MBA エssenシャルズ」受講方法の説明
- ④企業のカリキュラム内容や大学院教育への要望について意見聴取

4. 第2回次世代産業人キャリア・ディベロップメント協議会ならびにプログラム開発委員会報告

【日 時】平成27年3月27日（金） 15:00～17:00

【場 所】名古屋商科大学大学院 名古屋キャンパス伏見ビル

【協議内容】

- ①平成26年度 MBA エssenシャルズ 実施報告
- ②平成27年度 MBA エssenシャルズ 実施計画説明
- ③「社会人学び直し大学院プログラム」事業としての本学 MBA エssenシャルズプログラムに対する企業側の期待についてディスカッション

【2】社会人との学修ニーズ協議会開催

社会人との学修ニーズ協議会を次のように開催し、本学で提供している全プログラムのカリキュラム編成ならびに教育課程の改善に向けて企業や社会人の学修ニーズの聴取を行った。本協議会には、本大学院のOB&OGの社会人やMBAプログラムへ受講生を派遣している企業の人事担当者が招待された。

特に、平成26年度の協議会においては、本委託事業によるMBA エssenシャルズの実施結果を報告し、参加者からの本プログラムに関する意見や社会人や企業の立場からの意見や今後の本プログラムに対する学修ニーズを聴取することができた。

【Agenda】

- ・ 本学のカリキュラム体系、および講義の質と内容について
- ・ 教員の質について
- ・ 出講教員への要望、提案
- ・ 企業との連携について
- ・ 学生募集ほか対外広報活動について

1. 平成 26 年度社会人との学修ニーズ協議会（会計ファイナンス研究科）

【日 時】平成 27 年 1 月 31 日（土） 14:30～16:00

【場 所】3 キャンパス合同にて実施（名古屋、東京、大阪と TV 会議システムにて同時開催）

【出席者】本学側からは大学院 Public Relations 委員会委員、事務局職員、
招待者として社会人（修了生、企業経営者、研修担当者）

| 所属 | 名前 | 名古屋 | 東京 |
|-----------------|--------|-----|----|
| 名古屋商科大学大学院 教授 | 佐野 哲哉 | ○ | |
| 名古屋商科大学大学院 教授 | 松田 和久 | ○ | |
| 名古屋商科大学大学院 事務局長 | 早川 京子 | ○ | |
| 名古屋商科大学大学院 事務局 | 加藤 恵子 | ○ | |
| 名古屋商科大学大学院 事務局 | 金田 裕子 | ○ | |
| 名古屋商科大学大学院 事務局 | 長橋 美智子 | ○ | |
| 社会人 | 13 名 | ○ | ○ |

2. 平成 26 年度社会人との学修ニーズ協議会（マネジメント研究科）

【日 時】平成 27 年 1 月 31 日（土） 17:00～18:30

【場 所】3 キャンパス合同にて実施（名古屋、東京、大阪と TV 会議システムにて同時開催）

【出席者】本学側からは大学院 Public Relations 委員会委員、事務局職員、
招待者として社会人（修了生、企業経営者、研修担当者）

| 所属 | 名前 | 名古屋 | 東京 | 大阪 |
|-------------------|-------|-----|----|----|
| 名古屋商科大学大学院 研究科長補佐 | 伊藤 武彦 | ○ | | |
| 名古屋商科大学大学院 教授 | 大中 忠夫 | | ○ | |
| 名古屋商科大学大学院 教授 | 長沢 雄次 | | ○ | |
| 名古屋商科大学大学院 教授 | 川村 稲造 | | | ○ |
| 名古屋商科大学大学院 事務局長 | 早川 京子 | ○ | | |
| 名古屋商科大学大学院 事務局 | 加藤 恵子 | ○ | | |
| 名古屋商科大学大学院 事務局 | 金田 裕子 | ○ | | |
| 名古屋商科大学大学院 事務局 | 青木 葉子 | | ○ | |
| 名古屋商科大学大学院 事務局 | 玉腰 千湖 | | | ○ |
| 社会人 | 19 名 | ○ | ○ | ○ |

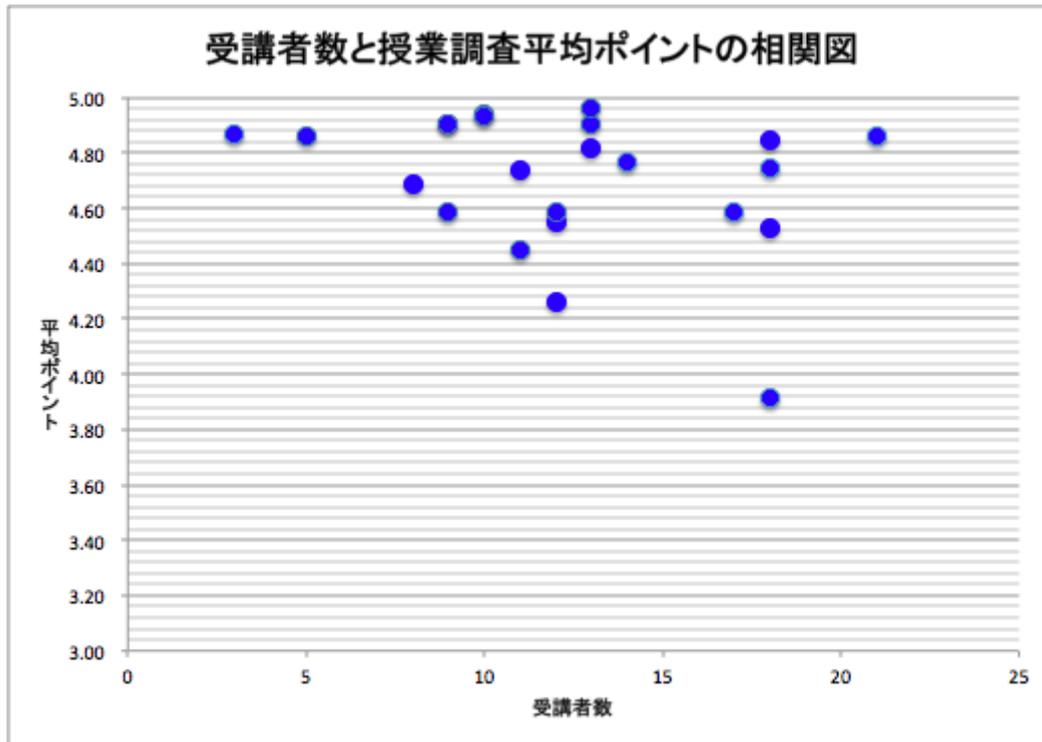
1. MBA エssenシャルズ 科目等履修生の履修結果

| 成績評価 | 合格 | | | | 不合格 | | 受講者数 |
|------|--------|-------|-------|------|--------|-------|------|
| | A | B | C | D | F | 不完全 | |
| 合計 | 13 | 21 | 28 | 2 | 3 | 54 | 121 |
| 割合 | 10.7% | 17.4% | 23.1% | 1.7% | 2.5% | 44.6% | |
| 合計 | 64 | | | | 57 | | |
| 割合 | 52.89% | | | | 47.11% | | |

2. MBA エssenシャルズ受講者による授業調査結果

講義終了後、受講生に以下 10 項目について 1 から 5 点の評価をさせる授業調査を行った。

| 質問項目 | | 平均ポイント |
|------|---|--------|
| 問 1 | 先生は、十分な予習を指示し、また、さまざまな課題（レポートや中間試験など）を課した。それらは、授業を理解するのに有用であった。 | 4.70 |
| 問 2 | 先生の話し方は明瞭で聞き取りやすかった。また、プレゼンテーションも適切で分かり易かった。 | 4.74 |
| 問 3 | 各回の授業の重点は分かりやすく工夫されていた。 | 4.67 |
| 問 4 | 各回の授業はほぼシラバスどおりに行われた。 | 4.67 |
| 問 5 | 授業におけるケース・スタディ(事例紹介)あるいは実習・実技は適切であった。 | 4.64 |
| 問 6 | 先生は積極的に質議討論を促した。 | 4.64 |
| 問 7 | この授業は知的な意欲をかき立て、示唆に富むものであった。 | 4.72 |
| 問 8 | この授業は私の短期的あるいは長期的なキャリア形成に資するものであった。 | 4.65 |
| 問 9 | 先生の教え方には熱意が感じられた | 4.75 |
| 問 10 | 私はこの授業に満足した。 | 4.67 |



3. ビジネス資格対策講座受講者アンケート (4 講座平均)

| 評価 | 割合 |
|------------|------------|
| 大変有意義だった | 10 (52.6%) |
| 有意義だった | 9 (47.4%) |
| 少々もの足りなかった | 0 |
| 満足できなかった | 0 |

平成 27 年度履修証明プログラム受講生募集・審査結果

1. 受講生の審査方法

応募申込書類による 1 次審査後、インタビューにて 2 次審査を行う。

① 応募申込書類

- ・ 受講申込書
- ・ 課題エッセイ
- ・ 卒業証明書
- ・ 学業成績証明書
- ・ 応募審査料振込証明書
- ・ 英語力証明書類（該当者のみ）
- ・ 健康診断書（該当者のみ）
- ・ 派遣証明書（該当者のみ）
- ・ 外国人登録証明書またはパスポートの写し（該当者のみ）
- ・ 留学費支払能力に関する証明書（該当者のみ）
- ・ 日本語能力に関する証明書の写し（該当者のみ）

② インタビュー

1 名の志願者に対し、2 名の面接官（教員）で 15 分～20 分のインタビュー

2. 審査結果

| 志願者数 | 1 次審査通過者数 | 2 次審査合格者 | 入学(受講) 手続者 |
|------|-----------|----------|------------|
| 25 | 25 | 22 | 22 |

様式第 15（無断複製等禁止の標記）

無断複製等禁止の標記について

委託業務に係る成果報告書の無断複製等の禁止の標記については、次によるものとする。

本報告書は、文部科学省の「高度人材養成のための社会人学び直し大学院プログラム」委託費による委託業務として、《学校法人栗本学園 名古屋商科大学》が実施した平成26年度《経営基盤強化を担うイノベーション人材が育つ「MBA エssenシャルズ」プログラム》の成果を取りまとめたものです。

従って、本報告書の複製、転載、引用等には文部科学省の承認手続きが必要です。